いわき民報

發行所
平市田町48 電381・176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原 登

炭勞支部遂に解散

勞働戰線の統一茲に破る

第四回炭勞中央大會で國内勞働線戰統一の問題から大衆討議未だしと日鑛代議員が退場殘留代議員による同志的糾合で炭勞單一化に切替えられたが下部組織として炭勞東部支部でもこの中央が急激な變化に對處しても月末來數回の組織代表者會議執行部會議をもつて支部組織の善後策に就き檢討して來たつたが、その最後的結論を出す爲十一日午前十時半から平市勞働會館に第九回支部臨時大會を開催、豫想された如く活潑な論戰を展開、炭連側では中央の空氣をその儘反映的炭勞を一時棚上げ單一化に進むべきだとの主張に日鑛側では中央の空氣をその儘支部に持込むべきだとの主張に分れ、中央の空氣を支部にもち出すのは考えるべきだ、吾々は内容的なものを備えたならば總同盟のわくから出て勞働線戰統一に加入するだけの熱意は他組織におとらないと熱意をおびた論調で主張、一時緊迫した空氣をみなぎらしたが議事運營委員長からこの空氣を豫期しての對策として前記の三案が示めされ議勞組代表から形式的な統一を考えるより賛成を表わし大河原支部長の解散宣言があつて遂に昨年四月全石炭の炭勞への八ダカ合流による炭鑛勞働戰線の統一はここ一カ年七月目で遂に分裂となつた

◇…大會は成立人員百三十一名に對し百二十四名（委任四名）で成立、内譯は炭連六十名日鑛二十九名、中立二十八名新加入七名、議長に本田辰雄氏（常磐）副議長菅野織彌氏（茨中）が推され議長から中央の二の舞を演じない樣慎審討議して欲しい旨の要望と共に支部長からも組織問題の件は聲賛ともに要請されており分裂は勞働力を弱める、組織の中には政治的イデオロギーの相異もあるが炭勞規約の中にある階級的友愛と友情と民主的方法により組織の整備に努力して頂きたいとの要請があつて過般の賃金交渉の經過報告、その他執行部からの報告があつた

◇…議事に入るや七月以降賃金協定書はアッサリ承認され大會課題の今後の組織問題の件に入つたが、支部長は再度立つて勞炭の全化に努めて來たが中央大會で炭勞の機能が停止し組織問題で支部も組織代表者會議で種々檢討して來たとの報告あつて活潑な論戰を展開、常磐勞組の渡邊、掛札氏らは中央の空氣の儘解散を主張、これに對し日鑛の平井、小林氏らは『大會には未だかけていないが二、三炭鑛を殘し大体態度が決定しておる、勞働戰線統一を如何にすべきかは良く檢討しており日鑛としては本來の方向、總同盟の方向にむかつて苦惱を共にした炭勞と共に組織の強化を計らねばならない、これは支部長の心情だろう、賛だけによらず質の點も檢討せず基本的問題を檢討せよとの發言もあつたが日鑛側ではこの提案の樣に入つて從來通りの方向に進むことを主張して諒解、解散と決まり單一準備會を作ることになり大河原支部長から解散宣言あつて『今後も門戸を大きくして何時でも新組織に加入する自由を與えら寛大さをのぞむ』との要望あつて午後一時半閉會した

新炭勞結成準備へ

炭勞東部支部解散宣言後午後二時から平市勞働會館に中央の單一化に同調日本炭鑛勞働組合（新炭勞）常磐地方協議會單一化準備會結成會を開き假規約、豫算案をそれぞれ審議執行部は一應次回の正式結成大會まで暫定的に炭勞執行部員をあてることに決め參加組合は四十七組合二万五千名（舊炭勞百十七組合三万七千八百十名）内譯は現在判明しているところの代議員數によれば舊炭連系常磐、瀧田炭鑛等六十二名舊福島中立系古河、小野田炭鑛等十二組合二十名舊茨城中立系軍内、上田炭鑛等十五名となつている、なお來平中の高野總同盟總主事はこの結成會にのぞみ勞働戰線統一の重大を披れき新炭勞の發足に當り全勞會議の指向する線に副つて單一化を行つていることに敬意をのべ總同盟本部が目下民主的勞働戰線の統一に進んでいるが今後この方向に同調加盟する樣にとの要望挨拶があつた

石城柔道協會發會式

石城柔道協會發會式は十二日午前十時より平地區警濱武場で開き規約制定後役員を次の如く選任した、なお第一回柔道大會は十七日開く

△會長鈴木市長△副會長蓮沼縣議、諸橋元三郎△理事長高木喬△顧問關内代議士諸橋久太郎、應崎正見

參院に石原知事に大竹

民自黨平支部も擁立に決る

民自黨平支部役員會は十日夜本社ホールに開催、出席者廿余名、金古支部長から今次の參院補缺選擧に知事選擧對策について意見を開陳して欲しいと滿場に諮り、これに對し種々意見を陳述したが、結局民自黨縣聯合支部決定通り參議院には石原幹一郎、知事に大竹作摩を擁立、これが選擧對策委員八名を設置、人選は支部長一任と決し散會、一致勝を期することを申し合せ散會した

民報論壇

合併は時機尚早か

田原 登

平市と神谷、飯野兩村の合併問題は内面工作が大部進み合併近きにあるを思わせたが、神谷村青年會では將來の大問題なので全村民の意向を聽く必要があると世論調査を行つた結果、本紙既報の如く反對七十四%賛成十四%、賛成十%で壓倒的に反對の意志を表示している、もつとも平市に近接している鎭田部落の調査は未だ完了していないがこの部落民約四百名全部がかりに賛成したとして賛成者全部が五九一となり反對の九五三に比較してはるかに下位にある、而して鎭田部落も全部賛成者ばかりでなく反對者もあり青年會の豫想では賛否同數位と豫想している

この數字は慎重しなければならない、これを無視し天下り主義に村會や市會の機關だけで强引に合併を進めるとすれば今後に大きな禍根となり悔を千載にのこすことになる、近い例は小名浜の玉川村のごたくを見てもすぐにうなづけることである

地方自治体は經濟面から小さく孤立するよりも大きく團結して行つた方が得策である、政府が以前から奨勵町村の合併を慫慂して來た所以がここに在るが、これは原則論であつて現實とは相違する場合が屢々ありしかも今度の合併問題を客觀するとまことに根據とか理由が薄弱であつてわれ〳〵市民の納得の行く說明がない、平市の場合にしても鈴木市長は合併の唯一の理由として入場税が增徵されるから速急に必要だと力說したが入場税は三月一日から率下さげとなり縣に移管される運命に在ると傳えられるので唯一の合併理由が無くなつて居りその他にどう云う理由と利益があるか一向に知らされていない平市としても二中校舍を建設したり合併を前提としてかなり犧牲を拂つているが果してこの犧牲は將來に生きて來るものかどうか

民主政治は大衆の聲を基調として執行しなければならない、斯うした平市將來の大問題を解決する爲には市としては市會だけの意向によつて決めると云うことは大衆の聲と云うものを無視したやり方である、市内方部別に市民大會とか公聽會のやうなものを開いて廣く意見を聽くべきであり若しも神谷村の如く世論調査でも行つたなら反對の聲が案外强いかも判らない、何れにしても神谷村民の示したこの反對の意向は合併の前途に暗い影を投じたものであつて合併の機運未だ熟してないと見るのが至當であらう

× ×

日鑛代議員らの懇談會

新炭勞單一化準備結成會にのぞまなかつた日鑛代議員市に執行部では松井代議士、高野總同盟本部總主事らを囲み懇談した

葉煙草の違反防止に

關係大名十七面方定評

葉煙草の密賣や私設專賣局が依然跡を斷たない樣なので專賣局が防犯對策について專賣公社平出張所では十一日十二時から平市田町大貞に裁判所、檢察廳、警察、鐵道、運送店關係方面の人々七十五名を招き、座談會を開いた本田所長から犯罪が依然横行しその手段が益々巧妙になり專賣公社の所締陳だけでは到底これを防止することが出來ず一千二百億の國家豫算を負擔する專賣事業に更に協力して欲しいと懇請、これにたいし種々意見の開陳があり積極的に葉煙草の違反を防止することを申し合せ午後二時すぎ散會

八名歸郷

ソ連引揚の最終船團第四船榮豐丸で臨國した本部關係者左の八名は十一日の指定列車で無事歸郷した

△鈴木大四郎（植田）鈴木喜三郎（神谷）鈴木良光（〃）古市武男（大野）小野美男（勿來）松本守江（草野）高橋邦雄（赤井）佐藤義雄（〃）

上好間の火事

十二日午前五時四十分ごろ好間村上好間無職酒井ナオ（四一）方物置から發火、同物置を半燒した、損害約一万円、原因はカマドの不始末

チフテリヤ

赤井村字赤井永山ミヨ子ちゃん（三つ）は一日發病、五日ヂフテリアに、更に湯本町字天王崎馬上セイ子ちゃん（五つ）も六日ヂフテリアと決定、夫々隔離した

大塚の歳暮賣出し
全商品 百圓以上
靴と運動具一割引
十二日よりXマスの二十五日まで
Xマス……お贈答品に
商品切手と運動具を
平市田町（三田小路）
大塚へ
電話七七番
靴と運動具は豐富に揃つて居ります

1949年のフィナーレ
楽しいXマスは
オリエンタル
ダンスホールへ

新年エハガキトランプ花札
百人一首 かるた
聖書・讃美歌
續篇 現代用語の基礎知識
120円
友 マルトモ書店

第3回100萬圓當ル
金預福德預金
カンギンセービングカード
一口 1000円
無税・至くじなし
日本勸業銀行

夫佐川重雄儀十一日午前一時死去致しました茲に生前の親交謝し御知らせ申上げます
追つて葬儀は十三日午前一時自宅出棺致します
昭和二十四年十二月十一日
平市田町五一
佐川カネ
妻 山野邊三郎
喪主 山野邊喜一
親戚縁代

夫文吉儀永々病氣の處藥石効無く十二月十一日午後十時十五分死去致しました牢前の御交誼を深謝し此段失禮ながら紙上を以て謹通致します
追加葬儀は十五日午後一時自宅出棺致します
昭和二十四年十二月十二日 平市大町
妻 三井ミネ
喪主 三井善次郎
外 親戚 一同

天気予報 十二日
【今晩】は北寄りの風、晴天ですが一時くもりましよう
【明日】は北乃至北西の風晴れたり曇つたりの天氣ですが北部山沿いの地方ではしぐれましよう、海上は今晩は大体おだやか明日は多少風波が立ちましよう

御客樣本位の
市内各種卸商店の倉拂いの品物を原價以下のお値段で皆樣に提供する事になりました
御來場をお待ちしすま
第一回 出庫市（デコイチ）
十二月十七日（土）午前九時より
十八日（日）
十九日（月）三日間 午後五時まで
場所 平市三丁目三十米道路
主催 平商業研究會
後援 平商工會議所

御婚禮家具の調度
御正月用品の逸品揃
棚賣具箱式
神三御重台 蘇屠所用具一式
土・日曜は特賣致します
デパート 藤越 平市銀座通 電265

旭式煎餅燒機の實演販賣
大小厚薄自由、燃料は何でも可
特價二、五〇〇円
◇…特約店の需にも應ず
平市一丁目 旭屋金物店
特約店 小名濱上橫町（櫻井商店）

染色實演
みはる染
みはる染本舗がより良く染まる染め方を實演致しますから是非御來店下さいませ
▽當日染めてみたいと思われる品がありましたら「無料」で染めますから御持參下さい
（但し整理上みはる染一箇御買上げの方に限ります）
期日 十二月十三日（一日限り）
午前十時より
驛前中央通り
みはる染 特約販賣店 マサゴヤ
（發賣元 足利市 みはる染本舗）

郷土の生んだ大學者
原坦山（上）
猪狩義雄

文化日本の建設に、ふさわしい話題としてわが郷土の産んだ大學者、故原坦山のお話をいたしてみましよう。坦山は、文政二年に、平藩士、新井良輔の長男として生れ、幼名を良作と呼んでいた。その頃東京は、まだ、江戸といつてましたが、この江戸の神田に幕府の大學、昌平こうというのがあつたのであります。

坦山は少年のおり、將來儒者を以て身を立てようと、學者になろうと決心して手蔓を求めい、幸い、この學校へ入ることが出來たのでありました。

坦山は、ここで、佐藤一齋先生などの薫陶を受け、懸命に勉強した甲斐がありまして、僅か數年の後には、師も驚くばかりの良い成績を以て學業を積み、最早、朋輩中には、彼の右に出ずるものはなかつたのであります。ある日のこと、坦山は、駒込吉祥寺にあるせん堂という、坊さん達の學寮から招聘されて、經書の講義をやつたことがありましたが、生來、ちい落くきなかれは、殊に佛教など、あまり好んではいなかつたところから、血氣にはやるままに、講義の途中、チョイチョイ佛教の排斥の言辭をやつたものであります。即ち、儒學に長じた坦山は、佛教など何ものぞと云つた氣慨から、たかをくくつて、てんで、坊さんなど眼中にはなかつたのであります。

驚くに堪えかねた寮司の京さんは、大層憤慨致しまして、講義の終るを待ち、坦山に云うには『君が佛教に對して、そんな輕卒な排斥論などするのは、本當に佛教のことを知らないからなのだ。儒教と佛教とは、その何れが深遠であるのか、一つ議論をやつてみようではないか。そして、若し拙僧が負けたら君の弟子になる。代りに、また君が負けたら拙僧の弟子になることだ！』、それはよかろうという

ことになつて、直ちに、儒佛の優劣につき、互に、その蘊蓄を傾け議論を闘わしたのであります。その結果は、京さんの勝ちとなり、流石の坦山も、とうとう佛教の說に服さざるを得なかつたので、約束通り深く頭をまるめ、京さんの弟子になつたのであります併し、京さんは　まさか、この人が後に、三界の大導師となり、佛教のために縱横に活動するほどの大人物になろうとは、よもや、思つてはいなかつたことにちがいない。若し不幸にして京さんがその勝ちを坦山にゆずつたなら、どうであつたでありましよう。かれは、ますます増長して、ぼう法せん提の徒ともなり下、一生きよう慢な天狗で終つたことかも知れません。思えば、この一勝負、實に大切な勝負であつた譯で、面白いことには、坦山はその時負けたおかげで、かえつて、後の佛教大學者を約束され、日本文化のために、不朽の名花として永遠に咲き匂うことが出來たという、まことに、不思議な因緣ことであつたのであります。

さて、佛門に入つた坦山はその後三州の達宗和尚、宇治興聖寺の回天和尚、大阪の慶巖和尚、風外和尚等を歴巡し、そのかんついを受けて大いに心膽を練つたのであります。

坦山が、同門のえき堂と一緒に叡山に山居し、共に學んだころのことでありました。彼は、六尺四方の奇妙な形をした、大八車を作りこれを、京の町はずれに引き出し、その中に起居しながら、勉強したものであります。そして、この異樣な屋台車を、彼自ら『かろ』と名づけ、而もその小

天地のなかにあつて、悠々と書も讀めば、寫經もした。また、食べ物がなくなると、京の町へ出ては、たく鉢をするといつた具合で、數年間は、實に、このかろの中で佛教上の思索を凝らしたのであります。こんな、挿話に依ても、彼が何事にも徹底せずにはおかなかつた　その、性格の一端が分るのでありますが、これは、また一面淋ちよう浮華にながれてる現代人に對する活教訓ともなつているのであります。

モチ米は懸念さる
お正月用品の出廻狀況

金詰りの年末を迎えて各家庭とも苦しい財布の中から正月のお仕度をそろ〳〵始めることになつたが、今年のモチ米、砂糖、食油、木炭の配給、數の子、鹽、鮭等の出廻りを聞いて見た―

モチ米　正月ともなれば餅の一臼でもつきたいのが人情と食糧配給公團平支所ではなんとか年末までには一人一キロ位の配給をしようと目下縣の支局と交渉中である、今年は惡天候による供出成績が不順な爲正月迄に間に合うかどうか見透困難とされており、平支所でも郡部は當正月に配給するとしても、市内、炭鑛だけにはなんとか配給しようと大童であるなお去年あつた小豆の配給は縣内生産は少いため今年は全然配給はないと言つている

砂糖、食油等　味噌醬油はアリーク―ポン制になつたため製造業者から小賣店に廻るルートがマチ〳〵のため販賣日時が相違しているが實際の處配給味噌は有り余つて居る現狀なので何時でも購入出來る、醬油も中旬以後には一人三合の割合で配給される、砂糖は十一、二月分として一人當り一斤（三十四円五十錢）入荷次第二十日前後配給する、食油は三、四半期分として一人當り二百七十六グラム（約一、六合、五十二円七十錢）を入荷次第この下旬ごろ配給する

本炭　購入通帳を二十日過に發行の豫定で一戸一俵の割合で現物を配給する豫定

野菜　二十日過ぎないとはつきりした處は判らないが心配することもなく順調に出廻る見込みで價格も現在より上廻ることもない樣子である、現在の小賣平均價格は貫當り人參七十円ねぎ七十円、里芋八十円、白菜三十五円、ごぼう百五十円

清酒　お正月のお年玉に美味な銘酒を左黨連に贈ろうと縣酒類販賣協同組合中出張所では八日若松各連の〃未廣〃〃花春〃の特級一級、二級四石を市内都下の小賣店に希望配給した、而しこれは九月申し込んでおつたものが三カ月もおくれてやつと入荷したもので一番希望が多いといわれる〃榮泉〃は全然入荷せず東京方面からの注文で一杯だという話である、それに今度入荷した酒も正月迄には賣切れてしまうし正月一杯を地元酒では物足りず少くても若松の銘酒を入手しようとまた同出張所では奔そうしている

數の子　一週間前に北海道から丸公魚市場に二十俵（二十四貫匁入れ）丸市々場に十俵が入荷したこれで正月は間に合せようとするものでこれ以外は年内に入荷見込みがない、今年の値段は卸白五十円で小賣が百八十円、昨年と比較し卸は十円高小賣は同價格である

鹽鮭　昨年は品不足で幾分か不自由をしたがこの年末には豐富に出廻る見込み、貫當り卸價格が九百五十円、小賣が千三百円昨年より二百円高い

するめ　品不足で入荷見透しがなく現在僅かに市内に少量出廻つている程度である、するめは公定價格で卸百匁五十三円三十錢小賣六十三円、昨年と變りない

海苔　そろ〳〵産地に出始つて來ているので年内には豐富に入荷する見込み、價格は品質によつて大差あるので三十円―百円位の程度、昨年は十八円―

鮮魚　底曳船がサンマ棒受に轉換して五十円位だつたもので良いものは約二倍にはね上つている、このままでは困ると云うので丸公魚市場では冷凍イカと冷凍タコを正月用に一車發注したが購買力の低下で賣行きには自信がない樣、この分では三陸一面にも漁がない限り『お頭つき』は覚み薄き狀態にある

一年經つても利用者なし
檢察審査會で活用を希望

檢察審査會が發足してから早くも一年を迎えんとしているが未だに一般の中には審査會の制度に於いては認識が不充分なため活潑な運用が出來ない狀態にあるので同審査會では檢察民主化を強化するため一般に次の如く協力方を望している

告訴、告發及び刑事上の問題が發生した場合所轄警察署や、檢察廳に訴え證據不充分なため取下げになつた時や期日が延長になり何時事件が解決するかどうか解らない問題があつた場合は檢察審査會を利用して少しでも事件解決に協力してもらいたいなお今度の『小田炭鑛』の暴力事件に於いては診療所が暴力にあびえて中檢察審査會が發足してから早くも一年を迎えんとしているが未だに一般の中には審査會の制度に於いては認識が不充分なため活潑な運用が出來ない狀態にあるので同審査會では檢察民主化を強化するた

昭和年二十五年の
いわき民報に何を望むか
新聞及び一般印刷全般
記事一面及び二面
讀物・特集・廣告など
を言葉簡書に一枚一案でお書きの上本月二十日までに本社宛御送附下さい、優秀な御意見には謝を差上げます
平市田町四八　いわき民報社

子供銀行の協議會
十七日飯野の模範生も實演

石城地方事務所、教委石城出張所では小中學生の貯蓄思想普及のため九日午前十時から全所に金錢教育研究協議會準備會を開き平田小、飯野小中泉中、神谷中、小川中の各子供銀行の指導主任が準備委員となつて管内の小中學校に呼び掛け來る十七日午前九時から

第三日曜に研究會開く
三翠流活花教導場

三翠流生花教導場では今度研究會を設け新しい花道に志す同志として他の文化人の協力を得て藝術的に發展させるべく研究、努力している

その規定によると、一研究會を第三日曜にひらき

A發表作品製作B作品の批判採點C花道關係時事問題座談會D講演會（花道學藝術体系の研究（理論）

二、その他野外研究、見學などで變つた花道教導の行き方として注目されている

判決二件

△若松市生れ住居不定無職伊藤昌雄（二〇）の窃盜、詐欺事件は八日地裁平支部に開廷、懲役一年但し五年間執行猶豫の判決言渡し

△泉村本屋敷渡邊福松（二一）同小名濱町岡小名無職鄕東作（二七）の兩名による窃盜事件は八日地裁平支部に開廷、渡邊は懲役一年　月鄕は懲役十カ月、罰金五千円の判決言渡し

◇さきころ平市世界館で募集した『待つていた象』は十一日同館で抽籤を行い當選者は往復葉書で通知したほか同館内に氏名一覽表を掲示し發表になつた

◇應募中の迷答を拾うと『東京都上野動物園』はまだ上の部で、『名古屋市上野動物園』と創作したり『花子』『インディラ』が飛出す始末

◇懸賞募集廣告の隣りに『名古屋市東山動物園マカニイ、エルド』と解答がついていたのに…と係員苦笑！

映画案内　十三日替り

大野良犬　民衆劇場

新任の村上（三船）刑事は七發入りのコルト拳銃をぬすまれピストル屋を捜査する、ピストル屋本多（山本）の口から遊佐の名がもれて遊佐を追う情婦のハルミのアパートから、あづまホテル彌生へと、佐藤老刑事（志村）は手配中を遊佐の四發目の彈でうたれる、佐藤に村上は喀血する、村上の眞情にハルミが動かされ遊佐の逮取りが判り重傷をうけた村上は遂に遊佐を捕える、表彰されるが彼は心が晴れない、

路船き果てなき　聚樂館

黑澤明監督の探偵映畫

カリビヤ海の碇泊地で急に船員檢査をするが異狀なくドリスコルがニヤリと笑う、町で喧嘩をした張本人は彼だつた、島の女達が船へ上つてくるが何故か船長は默認する、敗日後アメリカの港、船員は故郷の留で一杯、碇が船は彈藥輸送をする事になるので不安、船は颱風圏内に入りヤンクは事故で死ぬ、スミティがスパイだとさわがれるが實は小箱は妻よりの手紙だとわかる、空襲をうけスミティは死ぬ、船員達は手當をもらい去るが船長は又この船へ戻るだろうという、有り金を消費した連中が戻るドリスコルは船員誘拐男によりアミシドラ號に連去られる、船員の一人はア號驛沈を報ずる新聞を海へすてさる、オニール原作の四つのエピソードよりジョン・フォード監督海洋映畫

おいしい支那そばは
専門店の
華香樓へ
電七〇二番
出前迅速

女中さん（四名位）
至急募集
二十才―三十才
希望者面談
喫茶と輕食　惠比壽
湯本町東町
佐野屋前

忘年會　新年會　には
最新御利用下さい
安直にサービス致します
（酒持込歓迎）
女中さん入用
（二十才前後）
即居料理　燕樂
民衆劇場裏燕樂小路

13日より
火を吐くコルト、七つの彈丸
追う者と追われる者の
壯絶なる都會の修羅
三船敏郎　志村喬　淡路恵子　俳優座出演
野良犬
民衆劇場

13日より
待望久し！
名匠ジョンフォードが
海を描いた最高の傑作
U I 作品
果てなき船路
ジョン・ウエイン
トーマス・ミッチェル
アイアン・ハンター
聚樂館

『待つて居た象』
『正解』名古屋市東山動物園
マカニイ　エルド
さきに懸賞募集致しました『待つて居た象』出演の巨象名は右の通りでございます三百餘のファンの皆樣の應募がありました事を御禮申上げますと共に正解者中抽籤を以て百名樣を選び夫々往復葉書にて御通知申上げ又當館内に氏名一覽表を掲げて發表致しました
多數ファンの方々の應募に對しまして有難く厚く御禮申上げます
今週上映は待望の
今年度一番の御家族向番組
皆樣を笑わせたり泣かせたり珍らしく樂しい映畫
『待つて居た象』
金語樓、エンタツ、喜多川
メイコ、志村、早ひかる
マカニイ・エルド
で御座居います。御家族お揃いで御來場の程御待ち申上げます
世界館

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前（電一二二番）

昭和24年最高審査
精米麥機中
優勝旗受領機
佐竹
E型精米麥機
只一
定糠　集糠　白米　馬力　風量
用途　不適　最高
機械　降つき　昇籾　歩留
白米　砕米　不糠　無低
節形　水溫　調原　無低
原子爆彈的革命機
馬力 1/2・1・2・3
堅型横型よりE型時代へ
原料御持參下サレバ即時實演ヲ致シマス
正金商會
平市材木町電九三一番